

肥後四位官郭公墓 400 年祭歴史再発見講演会研修成果波及報告

令和元年9月28日、肥後四位官郭公墓400年の墓前祭と、江戸時代初めころの外国人墓研究の第一人者、別府大学教授の田中裕介先生をお招きして、歴史再発見講演会「肥後四官さんの墓と加藤清正の海外貿易」を開催しました。

伊倉のまちには、かつて国際貿易港として栄えた歴史があります。市指定史跡「肥後四位官郭公墓」は、明の商人郭瀆沂の墓で、元和5年(1619)に息子の国栄、国珍が建立したものです。年代の分かる中国人の墓としては日本最古のもので、建立から400年を迎えることを記念し開催したものです。

まず9時20分から墓前祭を行いました。伊倉3か寺のご住職により読経いただいたあと、地元の皆さんによる「伊倉旅情」の歌が捧げられました。

10時30分からはJAたまな玉名南総合支所を会場に、歴史再発見講演会を開催しました。

はじめに玉名市教育委員会の大倉千寿さんに、肥後四位官郭公墓を含めた菊池川流域日本遺産の構成文化財である「菊池川の中世河口港関連遺跡群」について解説をしてもらいました。日本遺産とは何かについてもわかりやすく解説していただきました。

続いて田中先生から、「肥後四官さんの墓と加藤清正の海外貿易」と題して講演いただきました。

伊倉を拠点に朱印船貿易に従事していたとされる明の海商郭瀆沂。伊倉には同じ頃に造られた謝振倉墓、天水には元和7年(1621)銘の林均吾墓があり、長崎市深堀、長崎、坊津に1619~1635年にかけて中国人墓が出現します。1910年頃から1635年に中国人の渡来地が長崎に限定されるまで、各地に唐人町が形成されます。郭瀆沂も伊倉唐人町に住んで加藤家の海外貿易を担ったということです。また最近の研究成果からキリシタンであったとも考えられます。伊倉に残るキリシタン墓と唐人墓は、加藤氏による海外貿易の歴史的遺産であり、清正のキリシタンに対する対応の一面を伝えているのではないかとの結語でした。

今回墓前祭と講演会を開催したことで、これまで墓を守り伝えてきた伊倉の皆さんの理解がさらに深まりました。これにより、文化財を次世代へと引き継ぎ、伊倉の歴史に誇りを持ってもらう一助となったものと考えます。

シイカンサンしのび墓前祭

玉名市「四位官郭公墓」建立400年



「肥後四位官郭公墓」の建立400年の墓前祭で、手を合わせる子どもたち=玉名市

玉名市伊倉地区の約40人が地元歴史や「肥後四位官郭公墓」風景をつづた「伊倉の建立400年を記念 旅情」を歌ってしのびした墓前祭が28日、現地であった。地域の歴史を伝えようと、地元史を伝えようと、地元住民と同市の市民グループ「玉名遺産を活動」が初めて開いた。

被葬者は、伊倉を拠点に貿易していた明の商人・四位官郭公(本名・郭漢卿)。郭公の病死の知らせを聞いて来日した息子2人が中国様式の墓を建てた。この日、近くの三つ寺の住職が合同で読経。地主民ら参列者も清掃した「肥後四位官郭公墓」を囲み、来場を呼び掛ける実行委員会のメンバーら=玉名市

玉名(熊川果穂)

玉名発

明の商人 住民親しみ400年

かつて海外貿易の拠点港として栄えた玉名市伊倉地区に、江戸時代初期に朱印船貿易商として在留した中国人の墓「肥後四位官郭公墓」がある。建立400年の今年、地元住民らが地域の歴史を受け継ぐと墓前祭を計画している。

玉名市立歴史博物館によると、明の商人だった四位官郭公(本名・郭漢卿)は、現在の福建省出身で、中国に妻を残して日本にやって来た。加藤清正の下で唐人貿易を担ったが、その後、長崎にも進出し、遅くはペトナムまで手広く事業を展開していた。

伊倉北八幡宮には郭公が寄進したとされる麒麟の香炉があり、地元では「シイカンサン」と親しみを込めて呼ばれている。同館の村上晶子学芸員(61)は「日本にも妻子があり、伊倉を第

二の古里と想って落展を願っていたのだろう。墓が400年間、残っているのは住民が大切に守ってきたからではないか」とみる。

墓は中国様式で、郭公の死後、中国でもうけたと見られる。2人が来日して建てた。墓石には元和己未(1661)年と建立年が記されており、年代が明らかでない中国で国内最古とされる。2017年に認定された菊池川流域の日本遺産の構成文化財の一つ。

現在地元の堀川町区にも墓が年3回、墓を清掃している。同区の堀川町子(64)は「祖母からシイカンサンはえらい人」と聞いて育ち、大事にしなればとの思いが自然と芽生えた」と話す。

墓前祭の開催は初めて。地元と市民グループ「玉名遺産を活動かす会」が準備を進めてきた。15日には約1時間掛けて墓周辺を清掃した。同会の高井信彦代表幹事(66)は「伊倉の歴史を再発見し、後世に伝えるきっかけにしたい」と意気込む。

墓前祭は28日午前9時20分から、現地で、同10時半からJTAたまな玉名南総合支所で、外国人墓に詳しい田中裕介特別大教授が講演する。光景番号096872-3561。(熊川果穂)



国内最古「シイカンサン」あす墓前祭

肥後四位官郭公墓400年祭 歴史再発見講演会

菊池川河口の港町である玉名市伊倉は、かつて海外貿易の拠点として栄えました。

菊池川流域日本遺産の構成文化財である「菊池川の中世河口港関連遺跡群」の一つ、市指定史跡「肥後四位官郭公墓」は、「しいかんさんの墓」と呼ばれ親しまれ、400年間大切にされてきました。郭公こと郭濱沂は福建省海澄府内海澄縣の出身で、日本に在留した朱印船貿易商と考えられています。郭公墓は、その子国珍、国栄兩人が元和5年(1619)に建立したものです。近くには唐人町、三官、唐人川などの地名名称も残っています。また近くの「謝振倉墓」や天水町部田見には元和7年(1621)建立の「林均吾墓」などの中国人墓のほか、吉利支丹墓碑もあります。

この度郭公墓の建立400年祭と併せて、伊倉の歴史再発見の講演会を開催します。私たちは先人から歴史を受け継ぎ、未来に向かって人と人のつながりを育てます。小さな輪が大きな輪となり、そして「和」となる人づくりが「地域力の再生」ではないでしょうか。

肥後四位官郭公墓400年祭実行委員会 委員長 松本重美
玉名遺産を活かす会 代表幹事 高井信彦

9月28日 9:20～

肥後四位官郭公墓墓前祭 (現地)

10:30～12:10 歴史再発見講演会

解説 玉名市教育委員会文化課 大倉千寿 技術主任

「日本遺産 菊池川の中世河口港関連遺跡群」

講演 別府大学 田中裕介 教授

「肥後四官さんの墓と加藤清正の海外貿易」

- 玉名市指定史跡
「肥後四位官郭公墓」
(玉名市伊倉南方1347)
- 講演会場
JAたまな玉名南総合支所
(玉名市宮原738-4)
九州産交バス
伊倉宮の前バス停徒歩3分
JR鹿児島線伊倉駅から
徒歩約20分
IR鹿児島線玉名駅・
九州新幹線新玉名駅から
いずれも車で約10分



肥後四位官郭公墓400年祭 歴史再発見講演会

肥後四官さんの墓と 加藤清正の海外貿易

講師 田中裕介 別府大学教授

9月28日 (土) 10:30～ 参加無料

会場：JAたまな玉名南総合支所



主催 肥後四位官郭公墓400年祭実行委員会
共催 玉名遺産を活かす会
後援 玉名市・玉名市教育委員会・熊本県教育委員会
菊池川流域日本遺産協議会・熊本日新聞社・肥後考古学会
連絡先 肥後四位官郭公墓400年祭実行委員会事務局
玉名市伊倉北方3095 光専寺内 電話0968-72-3561





